

2024年度 和泉短期大学 シラバス

授業科目名	特別支援保育Ⅱ		教員氏名	中野陽子	
科目ナンバー	Ⅲ-6-1-2-2 3				
学年	2年		開講学期	前期	
授業形態	演習		単位数	1単位	
必修・選択	保育士必修		実務経験	社会福祉士	7年
テーマ	特別な支援を必要とする幼児の障がい特性と課題を理解し、一人ひとりの子どもにあった支援の方法を習得する。				
ディプロマポリシー	1.保育・福祉に関する基礎的な学修を通して、幅広い教養を身に付け、多様な人々を支える社会の理念・仕組みについての原理を理解している。				○
	2.保育・福祉の専門的な知識・技能を修得し、思考力、判断力、表現力、コミュニケーション力を身に付けている。				○
	3.保育・福祉の専門職として多世代にわたる人々の権利を護り、愛と奉仕の精神を実践できる。				○
カリキュラムポリシー	科目群Ⅰ 教養	キリスト教主義の精神を踏まえて、保育と人権にかかわる人としての価値観を再構築する			
	科目群Ⅱ 原理	様々な世代を支える社会の理念・仕組みについての学びを通して、愛と奉仕に基づく人間観を養う			
	科目群Ⅲ 知識・技能	子どもの心と体とそれを取り巻く環境を知り、共に成長するための様々な支援の内容と方法に関する専門的な知識と技能を身につける			
	科目群Ⅳ 実践	学んだ知識、技能、価値観を現場に即して臨機応変に実践できる体験を積み、キャリア形成の基礎を培う			
授業の概要	<p>各回のテーマに沿って、特別な支援が必要な子どもの保育に関して理解が深まるよう、個人及び小グループでのワーク等実践的授業を展開する。</p> <p>学生が主体となって発表を行うなど参加型の授業を行う。また、DVD等視聴覚教材も積極的に活用し理解を深める。</p> <p>社会福祉士として障がい者施設での勤務経験をもとに特別支援保育について授業を展開する。</p>				
授業の到達目標	①特別支援教育に関する制度の理念や仕組みを説明できる。				
	②特別な支援を必要とする幼児の心身の発達、心理的特性を説明できる。障がいのある幼児の教育及び生活上の困難について基礎的知識を論じることができる。				
	③母国語や貧困の問題等により特別な教育的ニーズのある幼児の教育上または生活上の困難や組織的対応の必要性を述べることができる。				
テキスト	『障害児保育ワークブック』星山麻木編著 萌文書林				
参考書	授業内で随時紹介				
ポートフォリオ	授業内で指示				
往還型授業 (双方向授業)	授業内での疑問や、学びを進める中で生じた不明点を、対話を通じて授業内で明確にする				○
	リアクションペーパーを用いて授業内での疑問等を対話形式にて対応する				
	リアクションペーパーの内容やテーマをICTを用いて授業内で受講者全員に公開・共有し、往還的理解を深める				
	ICT(-googleクラスルーム含む)を活用した課題提示・回収、アンケート等を実施する				○
	その他:				
成績評価方法	区分	割合(%)	内容		
	定期試験		実施しない		
	授業内課題参加度出席態度等	100	総括レポート40%、授業取り組み60%(小テスト・リアクションペーパー・課題・発表等)		
	その他				

授業概要と課題

第1回	テーマ 内容	オリエンテーション、授業の進め方、なぜ特別な支援が必要なのか	
	授業外学習	テキストLesson1をもとに、なぜ特別な支援が必要なのか理解したことをまとめる。	55分
第2回	テーマ 内容	全体的な発達を理解する。発達の領域、領域ごとに見た発達。母国語が異なる子ども等の保育。	
	授業外学習	テキストLesson2・3・7をもとに、発達は一人ひとり異なるということについて理解を深める。	55分
第3回	テーマ 内容	障がいの状態に応じた指導内容や指導方法① 肢体不自由・知的障がい	
	授業外学習	テキストLesson4をもとに、肢体不自由と知的障がいの特性および支援の留意点についてまとめる。	55分
第4回	テーマ 内容	障がいの状態に応じた指導内容や指導方法② ダウン症候群・自閉スペクトラム症	
	授業外学習	テキストLesson4・5・9をもとに、ダウン症候群と自閉スペクトラム症の特性および支援の留意点についてまとめる。	55分
第5回	テーマ 内容	障がいの状態に応じた指導内容や指導方法③ ADHD・LD	
	授業外学習	テキストLesson5をもとに、ADHD・LDの特性および支援の留意点についてまとめる。	55分
第6回	テーマ 内容	個別の幼児の実態を把握し、必要な支援技術を学ぶ	
	授業外学習	DVDで学んだ支援技術を活用できるよう学んだことをまとめる。Lesson8・9について再読し理解を深める。	55分
第7回	テーマ 内容	支援方法を理解する 地域及び医療や福祉、保健等の業務を行う関係機関との連携、障がいのある子どもの保育の課題	
	授業外学習	テキストLesson10をもとに、専門機関や専門職について理解を深めまとめる。	55分
第8回	テーマ 内容	支援方法を考える① 家族の気持ちの理解・保護者への伝え方	
	授業外学習	テキストLesson14をもとに、特別な支援を必要とする子どもの親の気持ちについて理解を深めまとめる。	55分
第9回	テーマ 内容	支援の方法を考える② 安心して自己発揮できることに配慮した個別指導計画を作成する。理論編	
	授業外学習	テキストLesson11・12・13をもとに、個別指導計画書の必要性や作成の留意点について理解したことをまとめる。課題として出された事例について計画書を立案してくる。	55分

第10回	テーマ 内容	支援の方法を考える③ 安心して自己発揮できることに配慮した個別指導計画を作成する。実践編	
	授業外学習	個別指導計画書について発表したことを振り返るとともに、発表を聞き学んだことについてまとめる。	55分
第11回	テーマ 内容	支援方法を考える④ 子ども同士のかかわりあい・育ちあい(発表)	
	授業外学習	テキストLesson11・12・13をもとに、子ども同士のかかわりあい育ちあいについてまとめる。紹介された絵本を再読し感じたこと等をまとめる。	55分
第12回	テーマ 内容	支援方法を考える⑤ 安心して自己発揮できることに配慮した保育者の姿勢	
	授業外学習	テキストLesson11・12・13をもとに、特別な支援が必要な子どもに対する人権擁護についてまとめる。	55分
第13回	テーマ 内容	特別な支援が必要な子どもの保育について振り返る(まとめ)。	
	授業外学習	特別な支援が必要な子どもの保育について総括する。	55分

#### 課題に対するフィードバックの方法

- ・小テストの考察を授業時に口頭やパワーポイント等でフィードバックを行う。
- ・本日の学びのアウトプットを記載し学生同士で発表しあいそのフィードバックも行う。